



# 第九卷 第五號

會員諸君に告ぐ

(第十四回總會席上に於て)

會長高嶺秀夫

本會々務の成績益良好にして年々多少の進歩を見ざるなとは蓋し會員諸君一致協同の結果にして其の我國幼兒保育上に貢獻する所決して尠少にあらざるを認び。爾今一層親和協力して益幼兒教育の爲めに盡されんことを望む。抑幼兒教育のことたる研究の餘地未だ甚だ多し。會員たるもの益向上の精神を以て研究的に事に従はんことを要す。且夫れ幼兒教育の方法たる一般教育學以外に特立せる別種のものにあらず。保育の任に當るものは理論的普偏的教育學の研究に於ても決して一般教育者に劣らざらんことを望む。且又時勢の要求は下層民に對する慈善的施設をして稍急ならしむるものあり。會員諸君は餘力のあらん限り、此方面に力を盡す所あらんことを望む。